

## ◆漁業士活用育成事業

### 平成23年度漁業士認定事業

水産業改良普及センター 鹿熊信一郎

#### 1 漁業士認定及び審査状況

漁業士制度は、地域漁業の振興と中核的漁業者育成を目的に昭和61年からスタートしました。本県でも昭和61年には、6名の漁業士が認定され、平成22年度現在47名の漁業士が漁業士会に入会し、地域リーダーとして活躍されています。その内訳は、名誉指導漁業士3名、指導漁業士33名、青年漁業士11名となっています。平成23年12月12日に県庁において平成23年度漁業士認定審査会が開催され、2漁協より推薦を受けた、青年漁業士候補3名について審査が行われました。その結果、新たに青年漁業士3名が認定を受けました。

#### 2 平成22年度漁業士紹介

##### ●青年漁業士（勝連漁協）

安里 彰徳（あさと あきのり）

昭和48年6月10日生（38歳）

父親や兄弟と一緒にモズク養殖を行っています。勝連漁協青壮年部の津堅支部会長を務め、児童生徒のサバニによる津堅島一周や追い込み漁業体験を実施して島の子供たちに漁業への理解を深めるとともに津堅島活性化のための活動を行っています。また、地域行事への参加を積極的に行っており、リーダーとして、部会員や漁協、地域社会から信頼されています。

##### ●青年漁業士（勝連漁協）

具志川 誠（ぐしかわ まこと）

昭和54年8月30日生（32歳）

高校卒業後、父親とモズク養殖に取り組むとともに、仲間と定置網漁業を行っています。現在、勝連漁協津堅支部の支部長を務め、ハーリー大会等地区行事では中心的な役割を担い積極

的に地域との交流を深めています。また、青壮年部と連携した津堅島活性化のための活動を行っており、リーダー的存在として、部会員や漁協、地域社会から信頼されています。

##### ●青年漁業士（八重山漁協）

大城 洋一（おおしろ よういち）

昭和58年11月25日生（28歳）

高校を卒業後3年間本土に滞在し、その後小浜島に戻り、6年間、父親等とモズク養殖並びに小型定置網、刺網、カゴ網漁などを行っています。

現在、小浜島の漁業者任意団体である「細崎ま〜る新鮮隊」の副隊長として、地元漁民らと一致団結し、漁村活性化のための活動を積極的に行っています。また、国庫補助事業「活力ある漁村づくりモデル育成事業」においては、ブルーーツーリズムや体験漁業、地魚を使った「たらしあげ」づくりなど、地域資源の有効活用を観光漁業に結びつける取り組みを行っています。



安里氏の認定書授与